

愛の調書、又は電話交換手失踪事件（1967）

LJUBAVNI SLUCAJ, ILI TRAGEDIJA SLUZBENICE PTT

メディア 映画

ジャンル

製作国 ユーゴスラビア

色彩 B&W

時間 82分

初公開日 1991/09/01

公開情報 コムストック

【解説】

マカヴェイエフのデビュー二作目で、ベオグラードの警察関係者から直接仕入れたという話を映画的に発展させたもの。セックスの効用を説く人類学者の意見と、犯罪学者の猟奇殺人論が交互に挿入され、井戸から引き上げられた若い女の遺体にまつわる事件の内容が明らかにされていく。電話局で働くイザベラはアラブ系の衛生捜査官アーメッドと知り合い、やがて同棲するようになる。ネズミ退治に人生を賭けるアーメッドは暇さえあれば、そのことに関する論文を書いている。享樂的なイザベラはやがて仕事一本槍の夫に不満を覚え、郵便配達夫のミーチャと浮気をするが、夫はそれを知り半狂乱になる。朦朧とした彼を追い井戸にたどり着いた彼女は彼ともみ合ううち、その中に突き落とされてしまう……。筋自体より、ソ連や自国を皮肉ったイメージの堂々たる混在ぶりが挑発的。食べかつ飲む場面が何ともエロティックなのは、その後のマカヴェイエフ作品を通じてのことだ。

【クレジット】

監督 ドウシャン・マカヴェイエフ Dusan Makavejev

製作 アレクサンダル・クルスティッチ

脚本 ドウシャン・マカヴェイエフ Dusan Makavejev

撮影 アレクサンダル・ペトコヴィッチ Aleksandar Petkovic

出演 エヴァ・ラース

ストロボダン・アリグディッチ

ルジカ・ソキッテ